



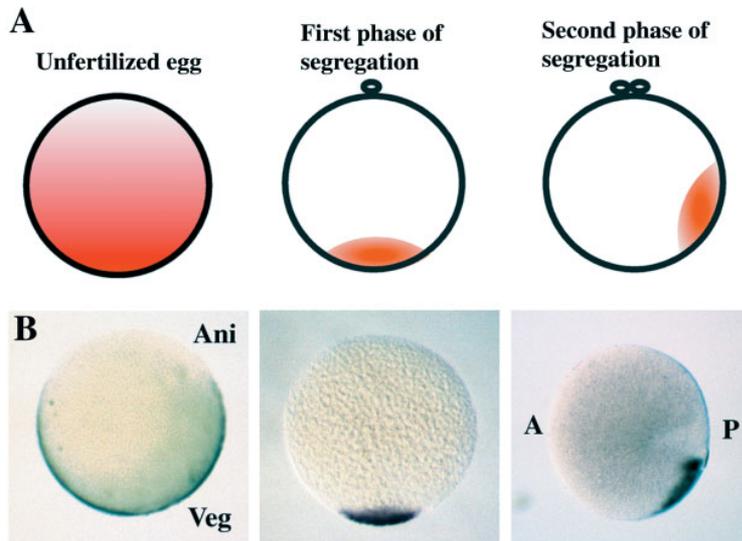
Faculty of
Science and
Technology
Tokushima University

無脊椎動物初期胚を用いた分子発生進化学

[キーワード: 水生無脊椎動物, 遺伝子発現]

教授 真壁和裕

海や川の水生無脊椎動物を材料にして
発生や進化の分子メカニズムにアプローチしています



海産無脊椎動物(脊索動物)であるホヤの卵の細胞質に局在するmachoという遺伝子のmRNAを, WISHという方法で可視化したもの

内容:

胚の発生過程のいつどこでどの遺伝子をはたらいているかをつぶさに調べることによって, 動物の発生メカニズムをゲノムレベルで理解しようとしています。そして, 遺伝子の発現がどのように変化していくのか, それらがどのように調節されているのかという遺伝子発現制御の機構や, そのためのゲノムネットワークがどのように進化してきたかということを解明することを目指しています。

他にも, 太平洋のウニ類の進化に関する分子遺伝学的な研究や, 徳島県産のヌマエビの環境適応に関する分子発生生物学的な研究もしています。

分野: 発生生物学

専門: 分子発生進化学

E-mail: kwmakabe@tokushima-u.ac.jp

Tel.: 088-656-7269

Fax: 088-656-7269

HP: <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/organization/309520/index-ja.html>

